宮城県育成イチゴ新品種
「にこにこベリー」について

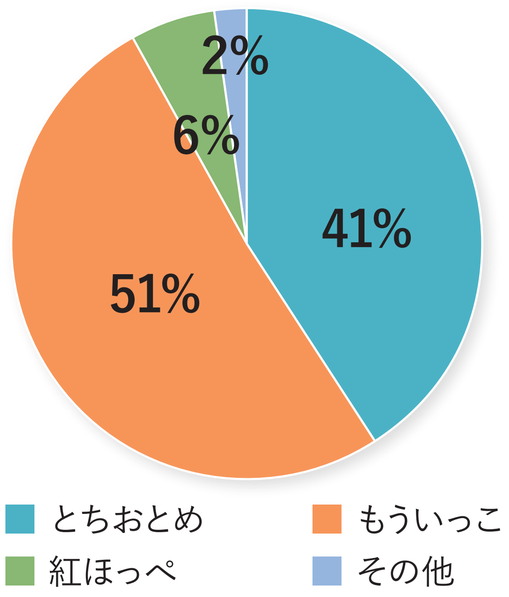
宮城県農業・園芸総合研究所野菜部イチゴチーム

県内いちご生産の現状

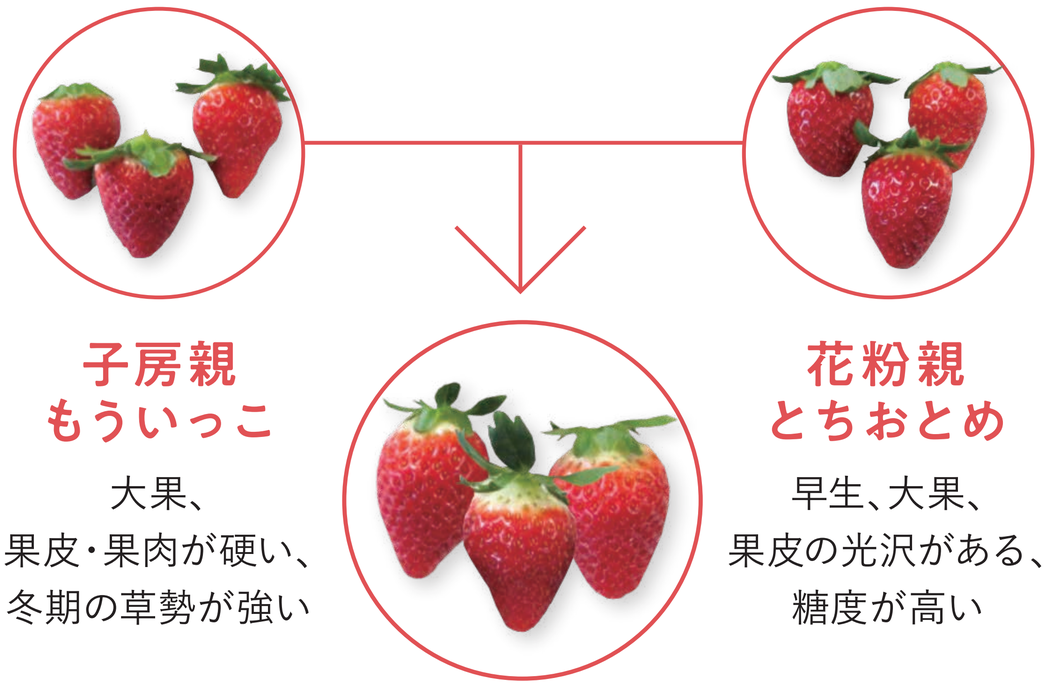
◯本県育成品種「もういっこ」と「とちおとめ」が主要品種
◯「とちおとめ」は早生性を持ち、単価に優れる年内中に品質の良い果実が収穫可能
◯「とちおとめ」は奇形果の発生が多い、収量が少ない等の欠点が課題

早生性を持ち
年内収量が多く
長距離輸送に
適した品種の育成
が望まれている

29年産 宮城県内イチゴ作付面積



「にこにこベリー」誕生



■ 育成経過

H17	H18	H19	H20～H26	H28～H29	H29
交配	1次選抜	2次選抜	生産力検定	現地試験	品種登録出願

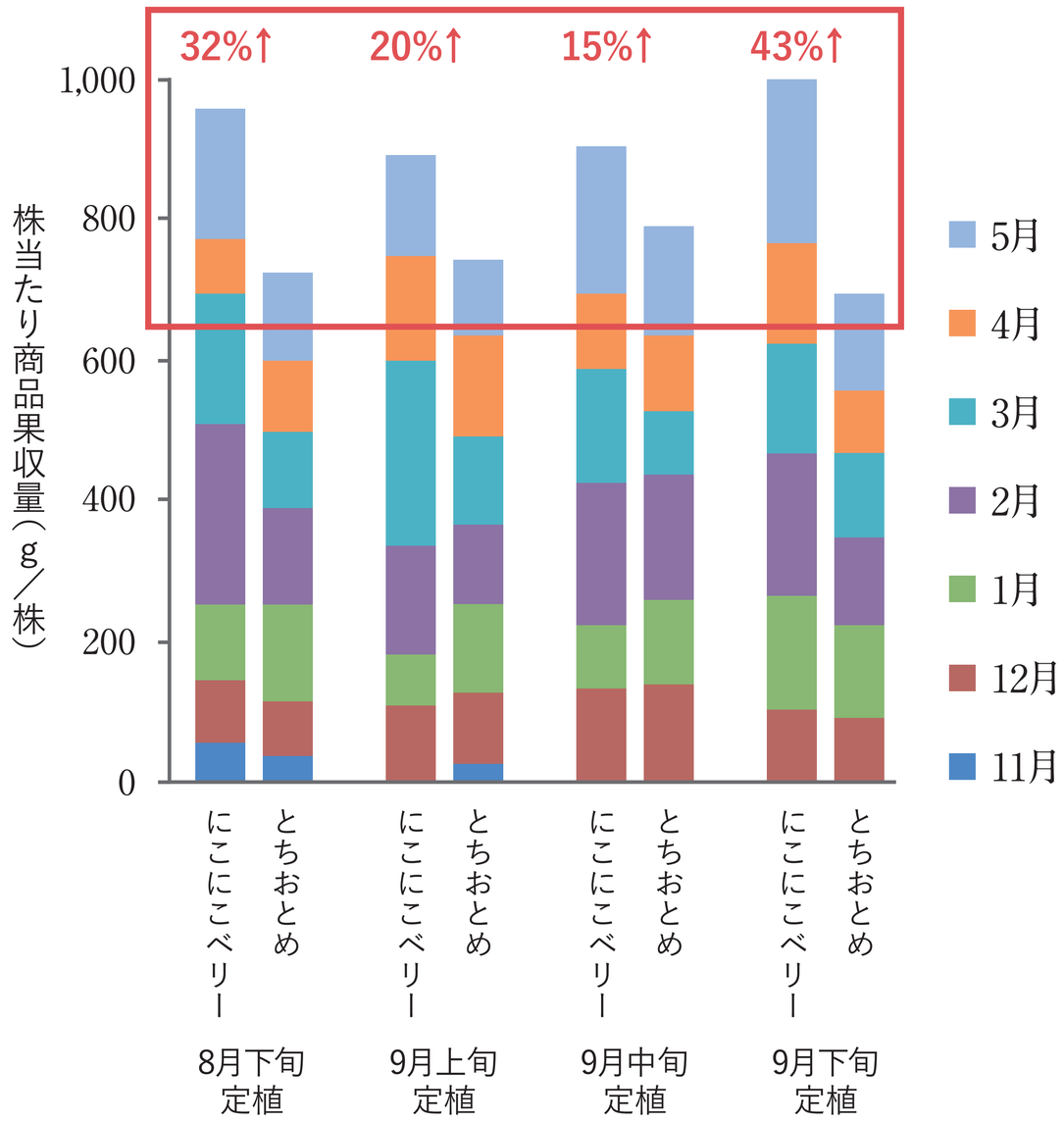
「にこにこベリー」の特徴 ①

現地試験の様子

果肉まで赤い

■ 形態特徴

形　質		にこにこベリー	とちおとめ	もういっこ
果実	果実の大きさ	**大**	大	大
	果実の縦横比	**縦長**	縦長	縦長
	果実の形	**円錐**	円錐	円錐
	果皮の色	**赤**	赤	鮮赤
	果実の硬さ	**極硬**	極硬	極硬
	果肉の色	**赤**	淡赤色	淡紅
	果心の色	**赤**	紅赤	白
	果実の空洞	**小**	極小	極小
	果実の香り	**強**	中	中

「にこにこベリー」の特徴 ②

収量は「とちおとめ」より15%～43%多い